

2024年度 活動報告

—

地域おこし協力隊
川上 凜

自己紹介

名前：川上 凜

出身地：長崎県長崎市

年齢：22歳（2002年5月29日生）

隊員歴：1年目

ミッション：商店街活性化(地域コミュニティマネー

趣味：コーヒー、音楽、日本酒

前職：バリスタ



今年度活動内容

- ・ 地域SNS立ち上げ
- ・ 空き店舗実態調査
- ・ 商店街活性化イベント従事
- ・ 多拠点ワーク体験ツアー情報収集
- ・ アントレプレナーシップ教育従事

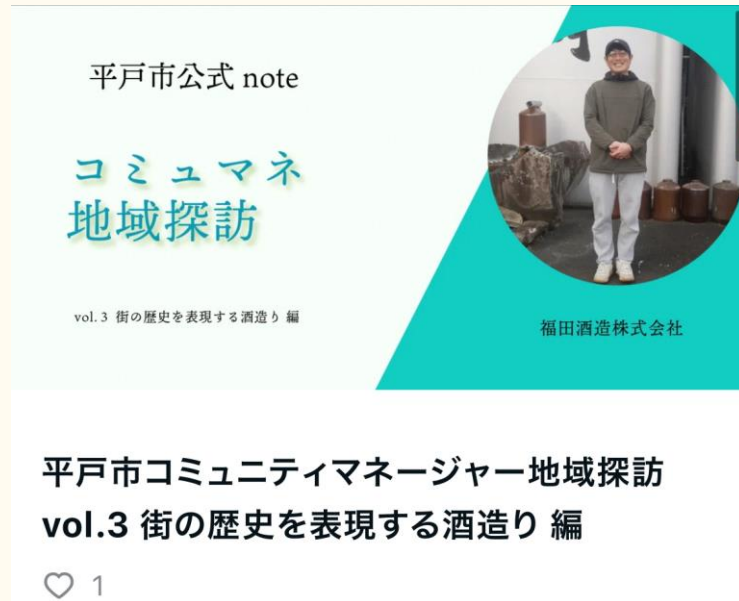
①地域SNS立ち上げ

- ・平戸市公式note

→地域事業者、団体のインタビュー記事掲載

- ・地域おこし協力隊Instagram、facebook

→活動報告、商店街イベント情報



②空き店舗実態調査

商店街周辺地区の空き店舗数と、詳細情報（物件販売額や家賃、間取りなど）

→来年度の公式mapでの見える化がひとつのゴールライン

目的

- ・ 商店街での開業を希望する方の労力削減
- ・ 商店街内高校生POP UPの実現
- ・ 多拠点ワークのベースとしての活用

③商店街活性化イベント従事

ひらどナイトフィーバー

11/9 ひらどまちづくり協議会主催で交流広場にて開催

収穫

- ・ 平戸市と市外のカルチャーが融合した「感度の高い」イベント
- ・ 普段街に来ない若者の来場も多数

反省

- ・ 商店街への流れは作れてたのか、？
- ・ 出店者、出演者の集客力頼りになっている可能性も



④ 多拠点ワーク体験ツアー情報収集

多拠点ワークとは？

...市外・県外の事業者や地域おこし協力隊等がその地域でのワーケーションを体験しながら、地域事業者や行政との交流・ワークショップ・視察等を行いその地域での関係人口創出を目指す

実例：大村市 coto多拠点ワーク



⑤アントレプレナーシップ教育従事

平戸市役所・KTX株式会社・福岡酸素株式会社・慶應大学メディアデザイン研究所による平戸市内3高校を対象とした教育プログラム

大きなテーマ：魚の残渣を活用した液肥で育てた野菜をどうブランディングしていく？

→このテーマをベースに、各校の専攻分野や生徒の興味関心のある分野に応じて課題設定をおこない、解決のためのグループワークをおこなう

例：猶興館高校 1 年生

平戸市への観光客（若年層）をターゲットとしたPR動画作成

東京都 株式会社AOI Pro様の協力の上2/18,19撮影・編集予定



活動を通しての収穫・気づき

- ・ 商店街の方々や地域事業者の方からお声掛けいただくことが増えた
- ・ SNSのコンテンツ化も成功しそうな予感？（まだまだ頑張ります、、）
- ・ アントレプレナーを通じた若者とのつながりづくりも順調

ただ...

街づくりの難しさを痛感する場面も

今後のミッション・目標

- ・ 地域交流拠点の立ち上げ・管理運営

→街の方々の集まるコミュニティスペース、地域と事業者が交わり新たなビジネスを生み出すハブに

- ・ 地域イベント主催

→長崎市でのイベント主催経験・ノウハウを活かして新たな風を

- ・ プレイヤー育成

→3年後任期を終えた時に引き継ぐプレイヤーを育てあげたい！

ご清聴ありがとうございました